

加 佐

学校だより 4月号

令和6年4月10日

舞鶴市立加佐中学校

TEL 83-0004 FAX 83-3201

<https://kasa-maizuru.edumap.jp/>



いい学校にするぞ

4月を迎え、川筋の景色は田畑のご準備に忙しくなったように感じます。桜並木に元気をもらって、教職員一同 張り切っております。

今年度 校長になりました阪口 靖敬（さかぐち やすのり）です。教頭を3年間務め、加佐中学校は4年目ですから、生徒の様子や校区の地理は知り得たものとして、スタートダッシュでがんばります。引き続き、学校教育の推進にご理解とご協力をお願いします。

4月9日（火）に24名の新入生を迎え、全校生徒63名でスタートしました。

始業式・入学式では、「いい学校ってどんなだろうか」と投げかけました。生徒の立場、保護者の立場、地域の・・・教職員の・・・、見方・考え方は様々ですが、物事を進めようとするとき、「いい！」に向かう躍動感やバイタリティ（生命力・活力）が大切だと、心に置いてきたからです。校長として「学校教育目標の実現」「諸課題に応じた適切な対応」はそのとおりですが、新米教師の頃から、生徒に助けられ、保護者さんに助けられ、地域の皆さんに助けられて、何とかやってこれた身としては、これからも皆さんと「いい！」に向かって力を合わせていきたい。どうぞよろしくをお願いします。

桜の開花「600℃の法則」

ここ数年は、せっかちな桜が若緑になってしまいますから、冬場から花芽を眺めて「入学式に合わせてね。」とお願いしていました。全国各地の「開花予想」は、この「600℃の法則」を気温予測に当てはめて計算するそうで、舞鶴の開花予想は3月29日（観測点：下福井の桜は、ほぼ当たり！だったでしょうか）。「加佐中の標本木は水辺公園！」と勝手に決めて観察していると4月1日でした（阪口の勝手な観察による）。

ひとり一台タブレットになって、知りたいことや調べたいことがすぐに分かるようになりました。大人もすぐ検索します。「実際の舞鶴の気温を調べて、600℃を積算してみよう。」とするとき、「検索ワード」をうまく選ばないと、ほしいデータにたどり着けないし、足し算を繰り返す計算式は「表計算ソフトの基本技能」として覚えていかなければなりません。時代に合わせて求められる能力が変わりつつあります。しかし便利さに溢れた現代でも、子どもが「何かを学ぼう」とする第一歩は「面白そう！」「知りたい！」「調べたい！」という知的好奇心です。

「ワクワクする感覚」と言いましょうか。AIが発達しても、このワクワク感を引き出せるのは、チャットGTPではなく、「教師の役割だ！」と意地とプライドをもって務めていきます。

